

Mass. Holttum, R. E. 1949. The classification of ferns. *Biol. Rev.* **24**: 267-296. Kato, M. 1972. The vascular structure and its taxonomic significance in the Athyriaceae. *Acta Phytotax. Geobot.* **25**: 79-91. (in Japanese) Maxon, W. R. 1905. *Adenoderris*, a valid genus of ferns. *Bot. Gaz.* **39**: 366-369. Sledge, W. A. 1973. Generic and family boundaries in the Aspidiaceae and Athyriaceae. *Bot. J. Linn. Soc.* **67** (Suppl. 1): 203-210. Tryon, R. M. & A. F. Tryon. 1982. *Ferns and allied plants with special reference to tropical America*. Springer-Verlag, New York.

* * * *

メシダ群に入るかどうか所属が研究者によって異なる中米・西インド諸島に分布する *Adenoderris* (2種) と、中国雲南省に産する *Cheilanthesis* (単型属) の分類上の位置をより明らかにするため、指標形質を比較観察した。

Adenoderris の葉柄内の維管束の木部断面は三角形のオンダ型の一型であることが確かめられ、その数は2本で小型の葉と関係があると推定される。羽片基部前側が耳状で、包膜が楕状であることなどから、イノデ属に近縁な特殊に分化した属であろう。

Cheilanthesis は他の諸形質ではイワデンダ属に似るが、包膜を欠きソーラスは葉縁の偽包膜によって被われるとされてきた。しかし、ソーラスの基部に数枚の裂片からなる真の包膜があることが観察され、この属はイワデンダ属に帰属することになる。*Cheilanthesis indusiosa* (Christ) Ching の正しい学名は *Woodsia indusiosa* Christ である。本種は小さな偽包膜をもつ *W. elongata* と類縁があると考えられる。

□宇田川俊一・室井哲夫 (訳): **カビの分離・培養と同定** (Malloch, D.: *Moulds: their isolation, cultivation and identification*) 100 pp. 1983. 医歯薬出版, 東京. ¥2,800. この4年ほどの間に、菌類に関する実験実習書や研究法解説書がいくつか出版された。それぞれに編著者の姿勢が異なるので、特色のある内容となっている。本書は取扱う対象をカビに限定して、陸生菌の採集・分離法を示したものである。また、よく出現する属についての検索表と、65属以上の比較的大きな線画、その簡単な解説を示している。普通に出現するものについてはかなりの程度に属の同定が可能であるし、種の同定のための文献も加えてある。本格的にカビの採集・分離・同定に取り組む前の、予備的トレーニングのための指導書としてたいへんに好都合である。本書の訳出により菌類の学習のために新しい方向からの手掛りが1つ加わったことは、喜ばしいことと思う。

(三浦宏一郎)